

会 議 録 (要 旨)

名 称	令和5年度第2回中央区健康・食育プラン推進委員会	
開催年月日・ 場所	令和5年7月26日(水)午後7時～8時 中央区保健所2階大会議室	
委員出席者	区職員 以外	笹井 敬子(委員長)、西村 一弘(副委員長)、西井 京子、 加藤 寿実、横山 京介、本橋 隆弘、菅野 佐百合、松岡 誠一郎、 高橋 伸治、袖山 千鶴子、菊田 佐智子、川端 利勝、菊池 理良、 坂間 政利、新井 晃行、岡田 浩一、石井 規雄、 山野 純治、田中 寛子
	区職員	大久保 稔、北澤 千恵子、生島 憲
配付資料	<p>資料1 「中央区健康・食育プラン」次期計画体系(案) (参考)国民の健康の増進の総合的な推進を図るための 基本的な方針参考資料</p> <p>資料2 基本目標ごとの各指標 新旧対照表</p> <p>資料3 「中央区健康・食育プラン2024」骨子(案)</p> <p>資料4 中央区健康・食育プラン推進委員会に関するご意見等記入用紙</p> <p>参考資料 中央区健康・食育プラン推進委員会 委員名簿</p> <p>参考資料 中央区健康・食育プラン推進委員会 幹事名簿</p> <p>参考資料 席次表</p> <p>参考資料 中央区健康・食育プラン2013(冊子) ※会議終了後に回収</p> <p>参考資料 中央区健康・食育プラン2013(概要)【A3カラー刷り】</p> <p>参考資料 基本目標から指標までの一覧(プランから抜粋)</p>	
議事の概要	<p>1. 開会</p> <p>2. 保健所長あいさつ</p> <p>3. 議題 (1) 次期計画の体系案等について (2) その他</p> <p>4. 閉会</p>	

令和5年度第2回中央区健康・食育プラン推進委員会 会議録

日時：令和5年7月26日（水）午後7時～8時

会場：中央区保健所2階大会議室

1. 開会

生活衛生課長	出席した委員の人数が過半数の定足数を満たしていることを確認し、開会。 新任の委員及び幹事の紹介。
--------	---

2. 保健所長あいさつ

福祉保健部長	欠席の保健所長に代わり、福祉保健部長によるあいさつ。
--------	----------------------------

3. 議題

委員長	会議の公開・傍聴について、事務局へ確認。
生活衛生課長	会議は原則公開し、傍聴可能であることとあわせ、会議資料や議事録を公開する旨報告。
委員長	傍聴希望者の有無を確認。
生活衛生課長	傍聴希望者が2名いることを報告。
委員長	傍聴希望者の入室を許可。
生活衛生課長	傍聴希望者を入室させる。
生活衛生課長	配付資料の確認。

(1) 次期計画の体系案等について

委員長	議題（1）「次期計画の体系案等について」の説明を事務局に求める。
生活衛生課長	資料1、2、3について説明。
委員長	10年前の計画と比べて健康を取り巻く状況が大きく変化してきたことを踏まえて今回の計画案を示していると感じた。
委員長	質問・意見等について、確認。
副委員長	日本人は塩分を過剰摂取する民族と言われており、減塩に向けた取組が極めて重要であるため、今回食育に盛り込まれた減塩を今後推進してほしい。 生活習慣病に口腔そのものが関係しているというエビデンスもそろってきているため、今回計画に盛り込まれたことは非常に良い方向に変わったのだと感じる。

	<p>診療報酬等の改定について検討する国の会議において、リハ・口腔・栄養を常に一緒に動かすことが特に高齢者の場合重要といわれているため、食育の方で触れているが、高齢者の柱でも栄養について触れてほしい。</p> <p>65歳から75歳の間にいかにギアチェンジをするか考えることが健康寿命延伸のために極めて重要であるため、保健事業と介護予防の一体的実施等の視点が高齢者の健康づくりに入ると良い。</p>
介護保険課長	<p>保健事業と介護予防の一体的実施について来年度からの実施に向けて検討を重ねている。なお、来年度から新たな取組をする上で、栄養の指標についても改めて検討したい。</p> <p>ハイリスクアプローチの範囲や手法についても現在検討を進めている。</p>
委員	<p>未成年期における健全な口腔機能育成の支援は、非常に重要な取組と考えている。近年、舌を中心とした口腔周囲筋の発達が不十分なことが原因で気道が狭くなり、歯列不正や呼吸に大きな支障を生じている子どもたちが増加している。これらを未然に防ぐために幼少期からの口腔機能育成が不可欠であり、子どもたちの生涯の健康と生活の質の向上に貢献できると考えている。</p> <p>さらに、幼少期からの口腔機能育成は保護者の協力に加え、行政を含む中央区全体が一丸となって子どもたちの健康を守っていかなければならないため、早期発見、早期対応に向けた支援、協力をお願いしたい。</p>
健康推進課長	<p>口腔機能の基礎をつくるために幼児期からきちんと介入していくことはひとつのライフコースアプローチだと認識しているため、今後も検討していきたい。</p>
委員長	<p>口腔機能の向上という前向きな意見と感じた。</p>
委員	<p>女性の健康が盛り込まれたことがとても素晴らしい。2022年度に実施した最終評価の目標達成状況が50%台だったが、この計画では60%台に伸ばすことができたら良いと感じる。</p>
生活衛生課長	<p>女性の健康については、具体的な取組を落とし込めていないところもあるが、そうした視点を持ちながら普及啓発や健康づくりを今後検討していきたい。</p>
委員長	<p>資料1はわかりやすく整理されている。</p>
副委員長	<p>中央区の今後12年間の高齢化の推移を教えてください。</p>
高齢者福祉課長	<p>中央区は現在23区で最も高齢化率が低く、令和5年は国の29.0%に対し14.7%となっている。令和15年には中央区は15.7%、国は31.5%、東京都は24.4%になるというのが、今のところの推計である。</p>

副委員長	中央区は非常に高齢化率が低く、予測としてもそれほど大幅に伸びるわけではないということは非常に喜ばしい。
委員長	日本全体で少子高齢化が進んでいる中での中央区の特徴が示された。

(2) その他

委員長	他に意見や発言できなかったことがあれば、ご意見等記入用紙に記載して事務局にご提出いただきたい。
生活衛生課長	会議中に発言できなかった意見は、ご意見等記入用紙に記載の上、期限が短く申し訳ないが、8月2日(水)までに事務局へ提出願いたい。 次回の推進委員会については、9月下旬を予定しており、開催日の1か月ほど前に開催通知、開催日前に会議資料を送付させていただく。健康・食育プランの冊子はこの後回収するため、机の上に置いたままをお願いしたい。

4. 閉会

委員長	閉会の挨拶
-----	-------

以上